

平成 23 年度 博士前期課程学位論文要旨

学位論文題名 (注：学位論文題名が欧文の場合は和訳をつけること)

放射線科マネジメントについての研究

—BSC(Balanced Scorecard)の活用による PET-CT の導入—

学位の種類： 修士 (放射線学)

人間健康科学研究科 博士前期課程 人間健康科学専攻 放射線科学域

学修番号 10897606

氏名： 坂野康昌

(指導教員名：福土政広 教授)

現状の医療現場では、機器の急激な進歩に対応した技術者の能力向上と患者の安心安全の確保との両立を図ることが重要である。このため高度専門性を十分に発揮できる「良好なマネジメント」の論理と実践が不可欠である。

放射線科の医療技術を、多くの患者に対し、円滑かつ効率的に提供していくためには、各種 **Management** の可視化と、一元管理による職員の育成が重要である。担当する医療機器と患者に対し、放射線技師は、みな常に責任ある管理者なのだという **Motivation** を醸成しなければならない。

このため、本研究では、PET-CT 導入の機会に際し、放射線科の **Management** の可視化モデルを模索し、職員一人ひとりの、誰もが管理者として活用できる、一元管理ツールの構築に着手した。科学的方法により放射線科マネジメントを可視化し、将来的に活用できる次世代型のツールを具現化していくための研究である。

科学性と可視化を具体的にするため、BSC (Balanced Scorecard バランススコアカード) を活用した。この際、広汎なアンケート調査により、施設の異なる職員の BSC に対する熟知の度合いを計測し、BSC に対する弱点強化をめざし活用範囲を拡充した。

BSC を活用し始めた都立病院およびその他の病院では、新機器の導入などにおいて、機器性能比較、人材育成など多様な視点からの業務遂行と管理運営が求められるため、医療現場の現状に合致した活用の可能性を検討し、次世代ツールの構築につなげる。

また、科学性保持のため、SWOT 分析から始まり次の手順で BSC を作成する。**SWOT⇒StrategicMap⇒includeKPI⇒includeKGI⇒BSC+PDCA-cycle** を駆使して、**Indicator** を明確化し、一元管理が可能な設定を試行する。

また、本研究においては、社会的ニーズを先取りするにとどまらず、将来の健康・医療関係領域での新たな活用というビジョンに向けて、とりわけ放射線科の領域での科学的 **Management** を駆使した人材育成を実施し、科学的ツールの研究・開発の成果を上げ、社会 (地域医療) に貢献することを目指したものである。